

# 活動休止趣意書

これまで当協議会では、空港やその周辺地域の活性化に関する陳情要望や調査・研究等を行い、貴重な資源である大阪国際空港の有効活用及び周辺地域との調和ある発展を促すべく、様々な活動を積極的に行ってまいりました。

この間、ジェット機枠とプロペラ機枠に区分されていた大阪国際空港の発着枠は、プロペラ機枠にて低騒音ジェット機の就航が可能となり、提供座席数が増加致しました。また新たに低騒音ジェット機にて、長距離路線の運航が可能となるなど、大阪国際空港の利便性は着実に高まってきたところです。

また、近年では、大阪国際空港の機能と魅力が一段と向上していくよう、「遅延便の弾力的な取り扱い」と「近距離国際線の就航」の早期実現に向けて関係各所との連携を密にし、粘り強く陳情・要望活動を展開してまいりました。

しかしながら、2019年5月11日に開催された第9回関西3空港懇談会において、大阪国際空港の国際化など今後の取り組みについては、「短期および中期の視点に立った取り組み以外の課題」(注)として位置付けられました。

その後、2020年11月28日に第10回、2022年1月13日に第11回と開催された関西3空港懇談会においても、大阪国際空港に関する実質的な議論が棚上げされたままの状態が続いております。

つきましては、関西3空港懇談会において、大阪国際空港に関する議論が始められる環境が整うまでは、このような状況が今後もしばらくは続くものと考えられ、当面の間は当協議会の主たる事業である陳情・要望活動の見通しが立てられないことから、活動を一旦休止させていただきますことになりました。

なお、活動休止期間中は、地元3商工会議所(池田、伊丹、豊中)において「大阪国際空港周辺地域経済活性化連携会議」(空港活性連)を新たに設置し、活動再開に向けた気運醸成を目指して関係各所や就航先経済界等とも連携し、大阪国際空港の将来的な需要拡大に繋がる方策を引き続き探求してまいります。

また、活動再開の機が熟しました折には、従前と同様に変わらぬご高配を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様をはじめ航空各社や空港関連機関の皆様には、当協議会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

2022年5月吉日

大阪国際空港及びその周辺地域活性化促進協議会

会長(豊中商工会議所 会頭)	水上 英雄
副会長(池田商工会議所 会頭)	池田 吉清
副会長(伊丹商工会議所 会頭)	小西 新右衛門
副会長(豊中商工会議所 副会頭)	山西 洋一

(注)「存続協定等を尊重し、地元関係者と対話しながら取組を進めることが重要。運用時間外の発着便や代替着陸便等については、関係者と連携して定時運航率の向上などに取り組み、周辺環境の改善への努力と利用者利便の向上を図る。伊丹空港の将来像については、上記の課題解決を図った上で、存続協定や国の経営統合基本方針、地元の意向、短中期の取組等を踏まえ、また、将来の大幅な需要変動を見据えて、国際便の就航可能性を含めた今後のあり方について、状況に応じて議論する。」

※出典:2019年5月11日「関西3空港懇談会 取りまとめ概要」(抜粋)公益社団法人関西経済連合会 HP より